

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名	ハチダウン®
会社名	三井化学アグロ株式会社
住所	東京都港区東新橋一丁目5番2号
担当部門	営業本部 マーケティング部
電話番号	03-3573-9617
FAX 番号	03-3573-9891
整理番号	AGL09061Ja_01
推奨用途及び使用上の制限	ハチ駆除剤

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

【物理化学的危険性】

爆発物	[分類対象外]	自然発火性液体	[区分外]
可燃性/引火性ガス	[分類対象外]	自然発火性固体	[分類対象外]
エアゾール	[区分 1]	自己発熱性化学品	[分類できない]
支燃性/酸化性ガス	[分類対象外]	水反応可燃性化学品	[区分外]
高压ガス	[分類対象外]	酸化性液体	[分類できない]
引火性液体	[分類できない]	酸化性固体	[分類対象外]
可燃性固体	[分類対象外]	有機過酸化物	[分類対象外]
自己反応性化学品	[分類できない]	金属腐食性物質	[分類できない]

【健康に対する有害性】

急性毒性(経口)	[分類できない]	皮膚感作性	[分類できない]
急性毒性(経皮)	[分類できない]	生殖細胞変異原性	[分類できない]
急性毒性(吸入:ガス)	[分類できない]	発がん性	[分類できない]
急性毒性(吸入:蒸気)	[分類できない]	生殖毒性	[分類できない]
急性毒性(吸入:粉じん)	[分類対象外]	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	
急性毒性(吸入:ミスト)	[分類できない]	(麻酔作用)	[区分 3]
皮膚腐食性/皮膚刺激性	[区分外]	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性			[分類できない]
	[分類できない]	吸引性呼吸器有害性	[区分 1]
呼吸器感作性	[分類できない]		

【環境に対する有害性】

水生環境有害性(急性)	[区分 1]	オゾン層への有害性	[分類できない]
水生環境有害性(長期間)	[区分 1]		

GHS ラベル要素

【絵表示又はシンボル】



【注意喚起語】

危険

【危険有害性情報】

- ・ 極めて可燃性又は引火性の高いエアゾール
- ・ 高压容器:熱すると破裂のおそれ
- ・ 眠気又はめまいのおそれ
- ・ 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
- ・ 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

【GHS 分類に該当しない他の危険有害性】

- ・ ミツバチに対しても強い毒性

【一般的注意書き】

- ・ 子供の手の届かないところにおくこと.
- ・ 使用前にラベルをよく読むこと.
- ・ 医学的な助言が必要な時には, 製品容器やラベルを持っていくこと.
- ・ 火の中に入れてないこと
- ・ 容器は, 完全に使い切ってから容器ラベルの記載に従ってガス抜きを行い, 自治体で定められた方法により廃棄すること.

【注意書き】

[安全対策]

- ・ 熱, 火花, 裸火, 高温のもののような着火源から遠ざけること. -禁煙.
- ・ 裸火又は他の着火源に噴霧しないこと.
- ・ 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること.
- ・ スプレーの吸入を避けること.
- ・ 必要な時以外は, 環境への放出を避けること.
- ・ 使用後も含め, 穴を開けたり燃やしたりしないこと.

[応急措置]

- ・ 飲み込んだ場合, 口をすすぐこと. 直ちに医師に連絡すること.
- ・ 吸入した場合, 被災者を空気の新鮮な場所に移し, 呼吸しやすい姿勢で休息させること.
- ・ 気分が悪い時は医師に連絡すること.
- ・ 無理に吐かせないこと
- ・ 漏出物を回収すること.

[保管]

- ・ 日光から遮断し, 40℃以上の温度にばく露しないこと.

- ・ 容器を密閉し、換気の良い場所で施錠して保管すること。

[廃棄]

- ・ 内容物又は容器を廃棄する場合は、該当法規に従い、都道府県知事等に許可された産業廃棄物処理業者に委託すること。
- ・ 使用済みの容器は、他の用途に使用しないこと。

以下の点については、GHS分類結果よりGHSラベル要素は非該当であるが、取り扱い時には注意する。

[安全対策]

- ・ この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・ 保護手袋、保護眼鏡、保護マスク、保護衣を着用すること。
- ・ 取り扱い後は、手や顔等をよく洗うこと。

[応急措置]

- ・ 皮膚に付着した場合、多量の水で洗うこと。
- ・ 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名 : (5-ヘンシール-3-フリル)メチル *d*-シス/トランス-クリサンテマート/
(1,3,4,5,6,7-ヘキサヒドロ-1,3-ジオキソ-2-イソインドリル)メチル (+)-シス/
トランス-クリサンテマート混合物

別名 : d-T80-レスメリン/d-T80-フタルスリン製剤

成分	ハチタウン原液			噴射剤 (LPG*)
	d-T80-レスメリン	d-T80-フタルスリン	有機溶剤	
含有量	45%			55%
化学特性(化学式)	C ₂₂ H ₂₆ O ₃	C ₁₉ H ₂₅ NO ₄	-	-
官報公示整理番号				
化審法	(9)-1306	(9)-839	-	-
安衛法	8-(4)-645	8-(1)-596	-	-
CAS 番号	10453-86-8	7696-12-0	-	-

LPG* : 液化石油ガス (ブタン, プロパンの混合物)

4. 応急措置

吸入した場合 : 被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。

気分が悪い時は、医師に連絡する。

皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類、靴等を速やかに脱ぐ。

付着した製品を拭い取り、水又は微温湯で洗い流す。

外観の変化や痛みが続く場合には、速やかに医師の手当てを

- 受ける。
- 眼に入った場合 : 直ちに清浄な水で洗浄する。
洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水が行きわたるように洗浄する。
コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄する。
刺激が続く場合、速やかに眼科医の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗浄し、直ちに医師の手当てを受ける。
無理に吐き出させない。
被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。
毛布等で保温して安静に保つ。
- 応急措置をする者の保護 : 救助者は有害物質に触れないよう、手袋やゴーグル、マスク等の保護具を着用する。
-

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 二酸化炭素, 泡, 粉末, 砂
- 使ってはならない消火剤 : 棒状放水
- 特有の危険有害性 : 火災によって刺激性又は毒性のガスを発生するおそれがある。
大量に保管している場合、エアゾール製品が連鎖的に爆発炎上し、火を噴きながら製品が飛散するおそれがある。鎮火に時間を有する。
- 特有の消火方法 : 火災発生場所の周辺に、関係者以外の立ち入りを禁止する。
危険なくできる時は、燃焼の供給源を速やかに止める。
移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
容器、周囲の設備等に散水して冷却する。
消火活動は、可能な限り風上から行う。
- 消火を行う者の保護 : 適切な保護具(手袋, 眼鏡, マスク等)を着用する。
-

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置

- : 噴射剤が空気中に 1.8~9.5%の濃度の範囲内で着火源があると爆発するので、安全が確認できない場合は近寄らない。
漏出した場所の周辺に、ロープを張る等して関係者以外の立ち入りを禁止する。
漏洩した噴射剤が気化すると体積は約 250 倍となり、空気中の酸素濃度を低下させる。気化した噴射剤は空気より比重が重く、滞留のおそれがあるので、窒息の危険を防止するために換気、拡散等を行う。
作業の際には、必ず適切な保護具を着用し、漏出物との接触

- 及びスプレー、ミスの吸入を避ける。
 風下の人を退避させ、風上から作業をする。
- 環境に対する注意事項 : 河川等に排出され、環境に影響を起こさないよう注意する。
- 除去方法 : 液体は乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。
 大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。
- 二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに取り除く。
 危険なくできるときは、漏出源を遮断し、漏れを止める。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

技術的対策

- : 換気の良い場所で取り扱う。
 吸入や皮膚への接触を防ぎ、眼に入らないように適切な保護具を着用する。
 火気、スパーク、高温物の使用は禁止する。
 機器類は必要に応じ防爆構造のものをを用い、静電気対策を行う。
 必要な時以外は、環境への放出を避ける。

安全取扱注意事項

- : 容器を転倒、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の乱暴な取り扱いをしない。
 みだりにスプレー、ミスが発生しないように取り扱う。
 炎に向けて使用しない。

衛生対策

- : 休憩場所には、手洗い、洗顔等の設備を設け、取り扱い後に手、顔等を良く洗う。手袋等の汚染された保護具を持ち込まない。
 指定された場所以外では、飲食、喫煙を行ってはならない。

保管

保管条件

- : 保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
 高温になる場所や直射日光のあたる場所を避け、40度以上にならないようにし、火気等の熱源から遠ざける。
 水周りや湿気の多い場所には置かない。
 容器を密閉し、通気の良い場所に保管する。
 法規に規定された基準に従って、施錠して保管する。

容器包装材料

- : 金属製エアゾール容器

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

- : 未設定

許容濃度

〈ブタン〉

日本産業衛生学会	: TWA	500ppm (1200mg/m ³)
OSHA	: TWA	800ppm (1900mg/m ³)
ACGIH	: STEL	1000ppm
NIOSH	: REL	800ppm (1900mg/m ³)

〈プロパン〉

OSHA	: PEL	1000ppm (1800mg/m ³)
NIOSH	: REL	1000ppm (1800mg/m ³)
	IDLH	2100ppm

設備対策

: 屋内で取り扱わない。
やむを得ず屋内で取り扱う場合には、十分に換気を行う。
取り扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具	: 防毒マスク(有機ガス用), 送気マスク
手の保護具	: 保護手袋 (不浸透性)
眼の保護具	: 保護眼鏡, コーグル, 防災面
皮膚及び身体の保護具	: 保護服, 保護帽子, 保護靴等

9. 物理的及び化学的性質(内容物)

外観

物理的状态/形状	: 液体
色	: 無色透明
臭い	: 知見なし
pH	: 知見なし
沸点	: 知見なし -42°C (液化石油ガス)
引火点	: 知見なし -104°C (液化石油ガス)
液比重 (水=1)	: 知見なし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性	: 通常の取り扱いでは安定
危険有害反応可能性	: 液化石油ガスは、酸化性物質と激しく反応し、爆発する。
避けるべき条件	: 加熱により容器が爆発するおそれがある。
混触危険物質	: 知見なし
危険有害な分解生成物	: 知見なし

11. 有害性情報

急性毒性

経口 : 知見なし [分類できない]

経皮 : 知見なし [分類できない]

吸入(ガス) : 知見なし [分類できない]

吸入(蒸気) : 知見なし [分類できない]

吸入(粉じん) : GHS の定義による粉じんではないため、分類対象外とした。

吸入(ミスト) : 知見なし [分類できない]

皮膚腐食性/皮膚刺激性 : 皮膚刺激性を有する成分を含まないことから、区分外とした。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

: 知見なし [分類できない]

呼吸器感受性 : 知見なし [分類できない]

皮膚感受性 : 知見なし [分類できない]

生殖細胞変異原性 : 知見なし [分類できない]

発がん性 : 知見なし [分類できない]

生殖毒性 : 知見なし [分類できない]

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

: 区分 3(麻酔作用)の液化石油ガスを 55%含むため、区分 3(麻酔作用)とした。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

: 知見なし [分類できない]

吸引性呼吸器有害性 : 区分 1 であるハチダウ原液を 45%含み、かつ 40℃での動粘性率が 20.5 mm²/s 以下であると推測されるため、区分 1 とした。

12. 環境影響情報

水生環境有害性(急性) : 区分 1 である d-T80-レスメリンと d-T80-フタルスリンの成分濃度×毒性乗率の濃度合計が 25%以上となるため、区分 1 とした。

水生環境有害性(長期間) : 区分 1 である d-T80-レスメリンと d-T80-フタルスリンの成分濃度×毒性乗率の濃度合計が 25%以上となるため、区分 1 とした。

オゾン層への有害性 : 知見なし [分類できない]

生態毒性

<d-T80-レスメリン>

魚毒性 : ニジマス LC₅₀(96H) 0.000275 mg/L (EHC 92, 1989)

<d-T80-フタルスリン>

魚毒性 : ニジマス LC₅₀(96H) 0.010 mg/L

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託

し、関係法令を遵守して適正に処理する。

廃棄処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。

汚染容器及び包装 : 都道府県知事等の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

容器は、完全に使い切ってから容器ラベルの記載に従ってガス抜きを行う。自治体で定められた方法により廃棄する。

使用済みの容器は、他の用途に使用しない。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連分類 : 2.1
 国連番号 : UN1950
 国連輸送品名 : 可燃性エアゾール類
 容器等級 : ー
 海洋汚染物質 : 該当

国内規制

陸上輸送 : 道路法等に定められている運送方法に従う。
 海上輸送 : 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
 航空輸送 : 航空法に定められている運送方法に従う。

輸送の特定の安全対策及び条件

: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。
 転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に
 に行う。
 車両、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急
 時の処理に必要な消火器、工具等を備えておく。
 直射日光を避け、40度以上にならないようにする。
 該当法令に従い、包装、表示、輸送を行う。
 移送時にイエローカードの保持が必要。

緊急時応急措置指針番号 : 126 (気体-圧縮又は液化)

15. 適用法令

消防法 : 第2条危険物 第4類第3石油類(330 mL) 危険等級 III
 毒物及び劇物取締法 : 非該当
 労働安全衛生法 : 第57条の2 施行令第18条の2 別表第9
 名称等を通知すべき危険物及び有害物
 (ブタン 10%未満)
 化学物質排出把握管理促進法 : 施行令第1条別表第1 指定化学物質

非該当
化審法 : 第2条第5項優先評価化学物質
(2,6-ジ-*tert*-ブチル-4-メチルフェノール)

16. その他の情報

引用文献

- ・ 自社データ
- ・ 原材料の安全データシート
- ・ 上記以外の場合は、本文中に記載した。

記載内容については現時点で入手した資料に基づいて作成しております。記載のデータ及び評価については必ずしも十分ではありませんので、取り扱いには注意して下さい。

又、含有量、物理的及び化学的性質、危険・有害性等の記載内容は情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。

なお、注意事項等については通常の手続きを前提としたものですので、特別な取り扱いをする場合には、さらに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱い願います

ハチダウは三井化学アグロ株の登録商標です。